



はなみずき



東方小校区



幸ヶ丘小校区



細野小校区



栗須小校区



野尻小校区



鳥田町地区

市民との意見交換会



西小林小校区



紙屋小校区



三松小校区



内山地区

28年度意見交換会を終えて

広報広聴委員長 窪園 辰也

小林市議会基本条例に基づき 市民との意見交換会」を昨年同様「議員と語ろう会」と銘うって、7月19日～22日（4日間）まで4班に分かれて開催しました。

今回は、「より豊かな市民生活の向上を目指して」を統一テーマとし、実施しました。延べ262人の参加があり、各会場で活発な意見が交わされ意義のある交換会となりました。

統一テーマでは医師確保・雇用・定住・子育て・農業後継者・少子高齢化問題などの意見が交わされました。また、自由意見では道路整備・通信網の整備・観光への取り組みなど、地域での意見・要望等を聴取することができました。これらの意見・要望等については、関係機関へ繋ぐもの、政策討論会で議論していくものに分類し、分科会で議論を重ねていくことになりました。

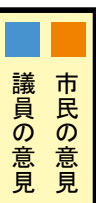
意見交換会の実施について、協力いただいた区長さんをはじめ、参加くださった市民の皆様、誠にありがとうございました。

また、小林市議会では、昨年12月の定例会において、政策討論会を設置しました。昨年実施した意見交換会が出た意見を分科会ごとに議論を重ねてきました。その内容については、3月6月定例会の「はなみずき」で、問題点の洗い出し・分類・関係機関との意見交換会等を実施し、分科会ごとの報告を行ったところです。今後、調査研究を進めながら分科会ごとの意見を取りまとめ、12月議会で最終報告を行います。

統一テーマ

「より豊かな市民生活の向上を目指して」

～住民自治に根ざしたきずな協働体について～
～人口維持対策（雇用対策）について～
～子育て・少子化対策について～



三松小校区

■小林では環境的に子育てが困難な状況がある。小児科医、産婦人科医の確保に責任をもって取り組むべき。

■医師不足については、まわりの市町とも連携すべきではないか。

■西諸医師会と連携している。小児科、産婦人科はドクターだけでなく、スタッフ体制も含めて確立しなくてはならない。議会でも一般質問等で質していく。

■きずな協働体の目的は何か。

■少子高齢化が進み、住民ニーズも多様化している。行政の画一的なサービスでは対応できない状況にある。そこで、地域住民が課題を発見し、解決に向けて、きめ細かい「まちづくり」をしていくのが目的。

■きずな協働体の予算はどこから出ているのか。

■市から出ている。

■婚活も行政で取り組むべきではないか。

■他でも意見が出ている。一般質問等でも提言している。これからも質していく。



細野小校区

■企業誘致のためのPR、環境の整備が必要ではないか。

■行政でも工業団地の確保に動いていたが、調査の結果、状態が悪く、概算事業費も高額になることから、事業を中止した。他の場所を探している。



■働く場所がなければ、子育ての環境が整わない。介護施設を充実させるなど、雇用の確保を図ってほしい。

■既存の企業の拡大も重要と考える。また、コールセンターなどの誘致の話もある。議会でも質していく。

■保育料の無料化、給食費、小児医療費の支援は子育て中の親の支援になる。有効な子育て支援をすべき。

■市民厚生委員会が行った意見交換会でも、そのような意見が多かった。議会でも引き続き議論していく。

栗須小校区

■きずな協働体に議員はどのように関わっているのか。議員の動きが見えない。

■議員もきずな協働体の一員。一緒に参画して取り組みたいと考えている。

■西小林では、楽しい活動やイベントを実施している。老若男女が集まれるような内容、活動をしていくことが重要。

■各協働体で独自の取り組みが期待される。西小林や細野では若いリーダーがでてきて、積極的に取り組んでいる。



■奨学金制度を活用して、医師を育てる工夫、小林の人材が市立病院に帰ってくるような工夫をするべき。行政も議会も努力が足りない。

■小児科医、産婦人科医の確保については、今後も引き続き一般質問等で質していく。



■ふるさと納税の財源を使って、ある地域では18歳まで医療費を無料化にしている。少子化対策に力を入れてほしい。

■本市でもふるさと納税を基金に積み、子育て支援の財源にしている。

■学生が県外に流出している状況。他の自治体では中学校の出前講座で、地域で働く人が地域に残る意義を話している。

■優秀な人材が小林に残れる工夫をしていく。議会で議論し質していく。

■農業振興を中心にすべき。市長の方向性はどうか。

■小林は農業のまち。現在の農地を有効に活用すべきと考える。農業の将来ビジョンを作るように、経済産業委員会でも議論している。

■行政に、農業振興を中心とした方向性を市民に強く示すように要求してほしい。

■農業振興公社運営事業を計画している。一般質問等で質していく。

幸ヶ丘小校区

■「地方がおびえる女性流出」という新聞記事がある。人口流出は女性が大きく影響を与えている。

■女性のための子育て支援や若者支援が望まれる。

■人口減少対策について、分科会でのような検討がされているのか。

■雇用確保のための企業誘致、6次産業化、地域ブランドの販売戦略、後継者育成、規模拡大など農業を中心とした「まちづくり」が基本である。

■市立病院を民間病院などへ委託はできないのか。また、産婦人科、小児科など市民を守るための医療対策はどうなっているのか。



■地元医師会の協力を得ながら、中核病院として2次救急の役割を担っている。小児科については、非常勤医師が週1回と第2・4火曜日及び土日祝日は月2～3回診療している。常勤医師確保に向けて、市も議会も努力している。

西小林小校区

■子育て問題の前に、まず結婚が先である。大事なのは若者が結婚できる環境づくりである。若者の雇用、賃金などの現状はどうなのか。小林の雇用対策などの方策はないか。

■本市の雇用についての有効求人倍率については、県内トップである。ただ、低賃金であるようだ。

■若者の出会いの場、農業後継者を中心とした「きもいり推進委員会」、「マチ婚」などは設置できないか。

■島根県出雲市では、婚活コーディネート者を置いて支援している。一般質問や委員会審査を通して提案していく。



野尻小校区

■若い人が産婦人科のことを心配している。市長は選挙の時は実現しやすと言っていた。もう一人の候補者の方も実現できるような話をされていた。議会がこの方から話を聞いて、市長に伝えてもらえば医師不足も解消するのではないか。産婦人科とか小児科とかどうなのか。

■小児科は、夜間の診療に都城まで行かなければならない。議会としても責任を感じ申し訳なく思っている。産婦人科については、宮大医学部から話があったが、2名体制でないと派遣できないということで実現していない。



■医師は、研究や技術の向上のため、都市部に集まる。地方でも十分な研究費や報酬を保証できるように、国に要求していくべきだ。

須木小校区

■娘が出産したが都城まで行くのは大変だった。小林市で出産できれば子供も増えてくるのではないか。「住みやすいまち」と言っているが、市はどのように考えているのか。

■小林市の人口を維持するとか、九州一安心安全なまちというのであれば、医療を、医師確保を最優先すべきだということで、当局に厳しく要望している。市長も病院も頑張っているようだが厳しい状況だ。西諸には県立・国立病院がない。地域医療を考える会が中心になり、西諸の医療の充実を約3万筆の署名を添え県に要望している。

■すきむらづくり協議会で空き家の調査をしているが、小林に空き家の所有者を呼んでどうするのか聞くということはできないか。

■空き家バンク登録制度ということで進めている。現在、市内全域で空き家の調査中である。改築や補修をしないと住めないところもあり、調査は欠かせない。人口を増やすためにも、もっと積極的に議会も行政と一緒に進めていきたい。



■須木中央保育園に子供を預けて小林で働いている人が多い。軍谷トンネルは、熊本地震があったこともあり、大丈夫かと心配している人が多い。危険度はどのくらいなのか。

■土木事務所に聞くと、トンネルをもう一本通すくらいの費用をかけて補修をしたので安全だとの回答であった。今、迂回路として橋満林道の整備をすすめているが、あと2年で完成予定だ。

■平成28年度から保育料は上の子が中高生でも3人目であれば無料になる。そのため保育料に0円から6万円台まで差がありすぎることだ。

■無料になるには所得要件もある。市民厚生委員会でも保育料は問題があるということと議論をしている。

■県の周産期医療の計画では、県内を3つに分け西諸は都城市を中心とする周産期医療圏に組み込むことになっているが、議会は市長とともに反対をしている。地域医療を考える会を中心に医師が来やすい環境づくりに努めているが、議会、市長、市民みんなで協力し、努力していかなければならないと思う。



■地域で一番重要な高齢者問題がどこにも出てこない。介護難民、介護離職、思った仕事に就けないなどの問題がある。豊かな市民生活は高齢者問題が片付かない限り達成できないと思うが。

■経済産業委員会の政策討論会のテーマは、人口維持対策である。担当課に人口維持対策は高齢化問題と後継者問題の分析、研究、対策にあるということを進言した。

紙屋小校区

■議員視察の岡山県高梁市^{たかはし}の視察報告書を見たが、若い世代に知らせ、声を聞く場を作って頂きたい。

■若い子育て世代の方々と分野別の意見交換会もやる。今後そういう意見交換会も増やしながら実際何が必要なのかというのを色んな形でやって行きたいと考えている。



■それぞれの協働体は、大きさや範囲が違うが、現在の予算はほぼ同じで不公平を感じる。(野尻地区8,000人、須木地区2,000人、細野地区5,000人)人口に応じて上げてもらいたい。自主財源を掘り起こし、活動に参加してもらえ人材をふやしたい。

■予算関係は議会でも検討し、行政側にも伝えたい。



■雇用や所得を上げることが決める手になる。マンゴーでも反当1,000万円は上がらず350万円から400万円がいいところだ。放置されている山林の広葉樹を使ってキノコの生産を計画している。中国で作っていた会社が大气汚染などあり引き揚げにかかっている。高齢者・障がい者も従事することができ。こういう金の生る木を見つけ出す努力が足りないのではないか。

■貴重な意見をいただいた。今後、議論していく。



■農業の後継者はほとんどいない状況。宅地化して南海トラフに備えて、若い世代に来てもらうような思い切った政策は出来ないか。

■私たちも色々勉強をして、今後検討していきたい。

永久津小校区

■きずな協働体を立ち上げたところでは、どのような課題があったのか。

■西小林、細野では若いリーダーが出てきて、自分たちの地域を盛り上げようとがんばっている。活動を通して人材を発掘することが大事と考えられる。



東方小校区

■東方のまちづくり協議会の設立については、市当局の支援についてお願いする。

■委員会審査等を通して、地域の意見を伝えていく。

小林小校区

■きずな協働体が何をしようとしているのか分からない。区、組は自治会だから市議会や行政から、とやかく言われる筋合いはない。

■各団体が地域にある。横の繋がりを強くし、まとまって地域のために動き、小林の発展に繋がれば良いと考えている。

■自治体が駄目だから小林は発展しない。予算をつけて改めてきずな協働体をつくる必要があるのか。

■昔は結いの精神があった。もう一度地域のつながりができるようになれば、将来的には小林の発展が期待できる。

■コミュニティを作って、皆が集まって焼酎飲んで終わりでは意味がない。種まきをどうするかという事になる。

■組数が以前より少なくなった。組への加入もなかなか厳しい。議員の考えを、ただ箇条書きでなく、参考になる事例があれば具体的に聞かせていただきたい。

■各地域の方々がどんな形で行くか、それを私たちがどんな形で後押ししていくか。意義と着地点が明確に分かるように、もっと勉強して皆

自由意見

三松小校区

参加者
19人

■ダイレックスの跡に、競輪場外車券売場進出の話がある。教育環境の中に、必要ではないか。

■6月議会一般質問の市長答弁では、「計画があるが国道268号線沿いで、交通や防犯上の問題がある。」市としては白紙の状況であるということであった。

■こばやし大運動会は参加する人が決まっており、一部の人には負担になっている。

■今後のこばやし大運動会のあり方については、議員間で討議していきたい。

■健（検）診の受診率が低い、平日に行ける人は少ない。受けやすい工夫をすべき。

■そのために、日曜日の集団検診を、今年2会場で実施している。市も個別訪問するなど対応していくが、毎年実施するよう提言していく。

■災害の場合の連絡が高齢者に伝わらない状況である。

■高齢者や障がいのある人たちに情報が伝わるよう、議会で質していく。

さんに分かり易く説明が出来るよう進めていく。

■農業はいっぱい支援しても良いと思う。農業はセーフティーネットが無いので補助金は必要と思う。

■農家が作物に自信を持って売れる農業ができれば、後継者もできる。農家が儲かるための施策を打ち出し、目的に合った補助をする事が必要だと思う。

■子育て少子化対策の目的は。

■目的は大きく人口減少と少子化対策で、子育てしやすい環境にするこ



■人口は、ほとんどのところで減っている。小林が子育て支援をしても増えるはずが無い。育てた子が市外に出てしまえば何もならない状況である。

細野小校区

参加者
17人

■高齢化で個人では耕作できない農家が增加している。このような農地をNPO法人等、数名の農家が共同で作業する取り組みはできないか。

■牧場の桜祭りの演芸場や弁当を広げられる場所、駐車場、トイレの整備をしてほしい。

■一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。



■貯筋体操を自主的に実施している。近い場所でも実施できるよう、会場の確保、指導者の育成、利用料金の無料化はできないか。

■細野小体育館の雨漏り対策、駐車場の整備をしてほしい。

■中心市街地、地域観光交流センターについて、外から客を呼べる環境づくりをすべきである。

■一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。

■急激に増えることはない。今は人口減少を食い止める対策をしている。小林に住み続けてもらうこと、魅力ある小林になるのか市全体で考える、どうしたら人口維持につながるか。雇用・少子化・結婚対策、子育てしやすい環境、また、小児科医、産婦人科医の確保が全部重なければ、人口維持につながると思う。



鳥田町地区

■介護施設の企業誘致だと介護士、看護師という仕事も増えると思うが。

■高齢化社会を逆にとる考えだが、法律を改正しないと難しいところもある。そういうことは考えていくべき。

■若い世代が地元に戻って来られない理由のなかに、小児科医の問題がある。子どもが悪くなったら、宮崎か都城まで走らないといけない現状。小林、西諸を含む県西部の医療

永久津小校区

参加者
14人

■ふるさと納税で、小林の人は他の自治体にどのくらい寄付しているのか。納税への影響はないのか。

■一昨年の平成26年1月～12月は37名、市民税が約100万円減収だった。さほど影響を与えていない。平成27年は123名で約677万円の減収であった。

■山間部から通学している児童のための安全灯や道路の整備をしてほしい。

■要望書があがっている。関係課と調整する。

■チョウザメ産業は伸びるのか。ブランド化に取り組むのであれば、もっとビジョンを持って取り組むべきである。

■担当課に具体的な目標を立て、管理体制もしっかり取り組むよう要請している。

栗須小校区

参加者
24人

■七夕道づくりも、高齢化で作業が進まない。

■不審者情報の伝達について、警察等と連携し、みんなに伝わるようにしてほしい。

が充実するように、県に働きかけてもらいたい。

■夜具合が悪くなったときに、近くに病院が無いのは不安だとつくづく感じる。安心して産める病院、入院できる小児科が無い。それが一番の問題。議会もそれぞれの立場で頑張っているが、なかなか結果が出ていない。今後は、全てが協力して取り組みなければいけないと思っている。

■以前、孫が高熱でけいれんを起こして救急車を呼んだが、都城まで1時間かかり、とても不安だった。何とかしてほしい。

■多くの市民は市立病院で、子供の夜間診療、入院できる形を一番求めている。市立病院が努力することはもちろん、市民の皆さんが力を合わせて、声を上げていく必要がある。



■夏は生ごみが腐りやすく、収集回数が少ない。また、ゴミ処理の簡素化に取り組んでほしい。

■一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。



鳥田町地区

参加者
19人

■デイサービスがなくなると聞いた。中央まで行くと、時間がかかり、意味が無いと思うが、なぜデイサービスをやめるのか。

■現在の利用者には希望に沿った施設を紹介している。須木区では、社会福祉協議会が行っているデイサービスも利用できる。

■山ヒルの生息地が年々広がって、栗・柚の収穫等に支障がでている。今後の対応は。

■山ヒルの拡散は鹿の影響だと聞いている。経済産業委員会、現状把握と今後の対応の提案を行った。

幸ヶ丘小校区

参加者
15人

- 学校給食費の未納者はいないのか。
- 現在ほとんどないと聞いている。
- 熊本地震では水の確保が問題であった。生駒水道組合は簡易水道であるが、高齢化で管理が困難である。市の水道として管理できないか。
- 上水道管につなぐことが条件となるが、工事費負担が発生する。また、生駒地区の地形上、新たな水源が必要となる場合もある。
- へき地の交通網の整備について、支援センターなどの送迎については、タクシー補助はできないか。
- ひとり暮らしの高齢者や重度の障がい者等に対し、タクシー利用料金の一部を助成している。



西小林小校区

参加者
38人

- 自治公民館などにもAEDの設置はできないか。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。
- ケーブルテレビ、光ファイバーなど西小林地区は整備されていないので、定住を希望される方が移り住んでも帰ってしまう。通信網の整備は。市では現在、Wi-Fiなどの整備を考えている。
- リサイクル収集したあと、資源ゴミの引き取り業者選定に、市はかかわっているのか。
- 市が入札を行い決定している。
- 西小林の新春ロードレースは40年の歴史ある大会である。スポーツ振興のためにも、大会を盛り上げるための支援はできないか。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。



東方小校区

参加者
13人

- 循環バスについて、山代地区などは福祉タクシーなどの利用はできないか。
- すきむらなどの温泉に、電気風呂の設置はできないか。
- 道路(通学路など)に覆いかぶさった樹木の伐採はできないか。
- 慈敬園の駐車場がバスなどの発着地となっている。高齢者が多いことからトイレの設置はできないか。
- 災害時などの復旧工事については、早急に対応できないか。
- 三ノ宮峡の環境整備、流木や覆いかぶさった立木などの伐採、また、陰陽石などの観光の方策はないか。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。
- 熊野神社裏の道路の改良工事はどうなっているのか。
- 今年中に着工予定である。



紙屋小校区

参加者
19人

- 学校給食の半額補助は保護者の方々から大変喜ばれている。今後も続けてほしい。ありがとうございます。
- 市外に居住して管理されない空き家・空き地がある。対策は。苦情がきたときに所有者を特定し伝えていく。
- 紙屋出張所の業務範囲が住民票など限られている。高齢化も進み、車にも乗られなくなる。何らかの対策が取れるのではないか。
- 支所でできることは増やすべきだと思う。行政との調整もあるので意見は行政に伝える。
- 歩数計を使った健康づくりで効果を上げている自治体があるので研究してほしい。
- 以前議会の中でも出ていた。今後、委員会でも検討していきたい。



野尻小校区

参加者
19人

- チヨウザメは何年養ったのが何頭死に、損害額はいくらだったのか。
- 三年目のチヨウザメが全頭死んだ。損害額は、稚魚代、餌代、電気代などで50万円強とのことであった。



- 中心市街地の件だが、街が移動しているのに駅前開発とはどういうことか。テナントの入居者がないと聞いているが。

- 駅と江南跡地の再開発で人の流れを作りたいということである。アンケートでは、スーパーマーケットの希望が多かった。小林まちづくり株式会社も、自分たちでやらなければならぬという覚悟をもって一生懸命やっておられる。



内山地区

参加者
23人

- 農業委員の4区の推薦にあたっては、経歴や実績、人柄を考慮している人と話し合った末行ったが、一部の議員が反対していた。何が悪くて反対だったのか。地域の私たちが推薦した人ではだめだということだ。こういうことは全会一致でお願いしたい。
- 今回、選挙制から任命制になり、地域間のバランスが悪いとのことであった。
- 観光面や企業誘致に取り組んでほしい。そうでなければ小林市に夢はない。私は、7年前に小林市にきた。小林市は観光も十分成り立つ。素晴らしい自然は宝である。自信をもって進めていただきたい。
- 観光政策参与を任命し、観光DMOを立ち上げるべく今頑張っている。きりしま絶景ウォークを開催した。2,000人を超える参加者があった。企業誘致については、当局の対応が不十分な面もあると感じる。
- 高年齢者が病院で、湿布薬など山のように持って帰ってくる。病院もそういうところはよく考えて調整するように伝えていただきたい。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えて行く。
- 市営住宅5棟が何年も空き家である。活用する方法はないのか。地域で管理し観光客などの宿泊所として使えないか。
- 国の補助を受けて建設されたものであるから、自由にできないということもあるが、有効活用については議会でも議論している最中である。今後、当局に是正を要求していく。
- 大雨で県道が交通止めになっている。早く対応してほしい。また、県道沿いに田んぼを作っているが、法面に大きな石があり草刈りもできない。



- その件は区長から地域整備課に要望が出ているようだ。
- 旧内山小・中学校の体育館は非常に傷んでいるが、避難所になっている。補修して使うのか、取り壊すのか方針を早く示してほしい。
- 耐震性の問題もある。総務文教委員会でも調査し、議論する。
- 旧内山小・中学校の管理は予算が少なく、十分にはできないと言われた。管理のための最低限の予算は確保してほしい。
- 学校施設管理の件は、体育館含め担当委員会で調査・研究してみる。
- 消火栓は、黄色いペンキが塗ってあるが分りづらい。よその人が来た時もわかるように標識を立ててほしい。
- 一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えて行く。



須木小校区

参加者
14人

■ヲドノの問題はどうなっているのか。みんな不安がっている。
■今、裁判所から和解案がでている。議会から当局に提案しているが、弁護士と相談して検討するということ。でまだ回答はない。



■光ケーブルが庁舎まで来ているが、広がりがなくインターネットが利用できない。手続きなど「インターネットでご確認ください」といわれるがどうしようもない。議会傍聴もインターネットや庁舎1階ロビーのテレビでも見ることはできない。職員の机のパソコン1台でしか見ることはできない。光ケーブルが通っていないと企業誘致もできない。
■議会としても情報格差の問題は、

小林小校区

参加者
17人

■医師の定年延長をしない方が、後任の医師が来るのではないか。
■手術をする時は内科医が必要。単純に辞められたから、後任が来る状況でない。
■医師確保は市長の公約だが、進展がない。議会も、もう少し追及してほしい。
■地域医療対策監もいるので、議会も一緒に頑張ってほしい。
■医師が来ないのは、よそと比べて給与が安いのではないか。
■医師が少ないのは全国的な問題。今後も行政とともに医師確保に努めたい。
■都市計画税の恩恵に与っていない地区が沢山あると思う。それを全体的に与かるように考えていただきたい。



■防犯灯、街灯などの電気料金をふると納税で充てられないか。
■他市の状況を勉強して議会として協議していきたい。ふるさと納税を電気料に利用するという意見は、今後協議を深める。

当局に対し解消に向け取り組みよう要求し続けているが、いろんな方法を検討中ということ。有効な回答は得ていない。情報網の整備計画を28年度につくるといっている。これで期待したい。テレビでの傍聴に関しては、いつでも見られる状態である。

■特定健康診断の受診率が永田地区は20%ということに驚いた。受診率に応じた補助金を地区に出したらどうか。

■検診を含め健康維持につながることをしたら点数がもらえ、賞品が当たるという取り組みを行っている。受診率に応じた地区への補助金については持ち帰って議論してみる。

■給食費の半額補助で給食費の滞納はなくなったのか。

■給食費の滞納は以前に比べ解消に向かい、今ほとんどないようである。

南小校区

参加者
11人

■コミュニティバスの通る時間が夕方5時ごろのため利用するのに不便である。6時ごろにしてみたい。
■11路線を4台で走っているため要望に沿えないことが多い。毎年、利用状況を確認し、担当課が見直している。

■返礼品はなぜ4割なのか。全額返礼品に使えば地域の活性化に繋がるのでは。

■市民全体からの返礼品を返せればよいが、限られた生産農家、加工するところからの品物を使っている。残り6割を市民全部へ指定目的に合わせて還元している。



■政務活動費について誰がチェックするのか。調査研究したレポートはどこでみられるのか。

■1円以上から領収書を付けて提出している。調査報告についてもすべての議員が報告書を出して議長が目を通して。議会事務局に申請を上げれば、誰でも過去5年間分を閲覧できる。

■南小学校の青少年育成協議会から売り木付近は歩道がなく、危ないということ。要望を出している。

■南小付近は県が事業計画中である。売り木付近は、区画線（グリーンベルト）で対応しているが、歩道設置までには期間を要するため、平成29年度にポールコーン等で歩道と車道の分離を行う予定である。



■南島田のコインランドリー側の横断歩道に信号機を付けてほしい。

■信号機設置は設置条件等があるが、地元より小林警察署へ要望書を提出していただくのが望ましい。

■江南跡地にビルの建設計画があり、小林まちづくり株式会社が主体的にやっていると、ビル建設は遅れているようだ。駐車場が狭く中途半端な面積で商業施設は無理ではないかという話が出ている。

■経済産業省の一億円の補助金だめになったが、それがなくても小林まちづくり株式会社はやるということであった。駐車場は駅の方にも確保する計画である。



■孝ノ子の水は地区で一生懸命水を守っているが、だいぶ減ってきている。水を販売している会社は1本当たりいくらという税金をかけられないか。

■ほかの自治体で一本当たりいくらかという協力をもらっているところはある。ただ、市の広報紙にも掲載されていた通り、随時、寄付金を頂いて植栽事業に使ったりしている。

■避難所を開設したとき、行政から区長にその旨を住民に連絡してくれと言ってくるが、難しい時もある。防災無線の整備を進めるべきだ。

■議会でも議論し、度々当局に要求もしている。安心安全なまちと高らかにうたいあげている以上必要だと認識している。

「はなみずき」の読者モニターに ないませんか？（募集）

活動内容

- ①「はなみずき」の編集に対する意見や提案の提出
- ②「はなみずき」の編集に関する意見交換会への出席（年1回以上を予定）
- ③「はなみずき」に関するアンケートや調査への回答

人数と期間

- 募集人数 10人以内
任期 2年以内
資格 ①「はなみずき」の編集に関心があること
②中学生以上
③市内居住の方、市内で働いている方、市内で学んでいる学生
④議員や常勤の公務員ではないこと
謝礼 意見交換を行った場合には予算の範囲内で謝礼を支給
意見提出の際の郵便代などは負担いたします

応募方法

添付のハガキに、①住所 ②氏名 ③連絡可能な電話番号を記入のうえ、議会事務局あてに郵送または電話、FAX、電子メールでご応募ください。

募集期間

平成28年12月 1日（木）小林市議会必着
※応募された方には、「はなみずき」に関するアンケート等をお送りします。その後、要綱に基づき選考します。

議会事務局 〒886-8501 小林市細野300番地
電話 23-2475（直通）FAX 23-0303
Eメールアドレス k_gikai@city.kobayashi.lg.jp

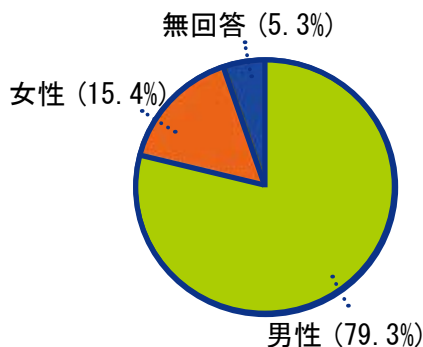
○意見交換会への意見・疑問・質問などお寄せください。（開催時期、時間など）

議会だより「はなみずき」
読者モニターに応募します。

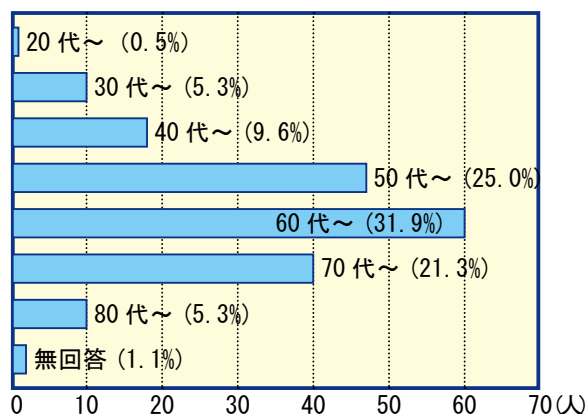
住所	
氏名	
連絡可能な電話番号	

アンケート調査から分かること

参加者の男女の割合



参加者の年齢層



「良かった」という方の意見

- 多くの意見が出て良かった。これからも自由な意見を出す場を継続してほしい。
- 議会が真剣に取り組む姿が大変良い。各議員の考えが理解できる。委員会の内容も理解できた。
- 様々な意見が出た。特に要望事項が多いので、もう少し政策的な話があっても良かったのではないかな。地区によっては、要望の聞き取り会になっていないか。
- テーマとは違った市民の意見でも、熱心に耳を傾けていただいている姿が印象的でした。
- 地域の住民は、日頃様々な面で政治に希望を持っていることを実感することができて、大変有意義な時間でした。

自由意見から

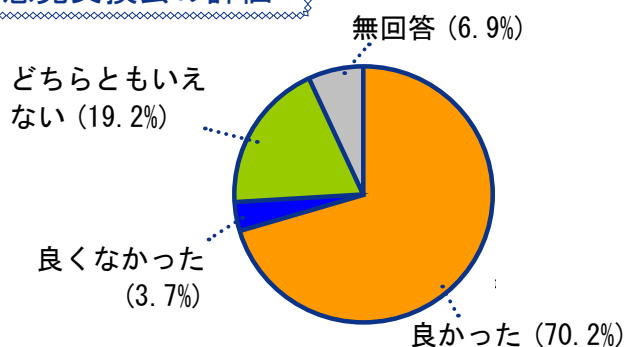
- 議会報告の時間は、少し短くして良いのではと思った。その分意見交換に時間を使えるかと思った。
- 意見交換で出た意見をどのように反映するのか、反映されたのか、フィードバックが必要。
- 出席者が少なく残念だった。参加してもらえる工夫をされているのか。ただ広報だけでは参加者は増えない。特に若者は。女性も少なかった。
- 参加者が少ないけど、根気強く続けていけば、市民の中にこの意見交換会が定着していくと思います。頑張ってください。

「良くなかった」

「どちらともいえない」という方の意見

- 若い人が参加したいと思うような会にしなければ、何回もこのような会をしても意味はないと思います。一般の人の意見を吸い上げる形にしたいのではないのでしょうか。

意見交換会の評価



料金受取人払

差出有効期間
平成29年7月24日まで
(切手を貼らずにお出しく下さい)

郵便はがき

886-8790

(受取人)

小林市細野300番地

小林市役所 議会事務局

広報広聴委員会 行

(はなみずき 2016.11月15日 臨時号)

ふりがな
ご氏名

※「はなみずき」に掲載させていただく場合に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はご記入ください。

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ()-()-()